

NEWS RELEASE (2022年2月 日) 取材依頼

理工学研究科工学専攻建築学プログラム鷹野研究室が北園製材所と共同で開発 新しい木質構法を応用した仮設バイオトイレのプロトタイプ建設

報道機関 各位

平素より本学の報道に関しては大変お世話になっております。

このたび、本学大学院理工学研究科工学専攻建築学プログラム環境建築 鷹野 敦 准教授は、北園製材所（日置市東市来町）と共同で開発した新しい木質構法を応用した仮設バイオトイレのプロトタイプを建設しました。つきましては、次のとおりお知らせいたしますので、是非とも取材・報道いただきますようよろしくお願いいたします。

【概要】

本学と北園製材所の産学共同で開発を進める同構法は、木の良さを活かし、非再生材料の使用を極力抑えた造りで、住宅に適用した場合、木材使用量は一般的な木造に比べ約5倍（建物内へのCO2固定量増加、地域資源の活用促進、化石燃料由来の材料の使用削減による環境負荷低減などの副次効果多数）の差があります。

今回は、バイオリユース株式会社（鹿児島市坂之上4丁目2-8）からの依頼を受け、バイオトイレに合う、再生可能材料（木材）をふんだんに用いた仮設トイレの建屋のプロトタイプを設計しました。"女性も使いやすい仮設トイレ"をテーマに、同研究室の女子学生3名が中心になりデザインを担当しました。

同構法の開発は2017年に開始。2021年8月には木造の耐力壁として国土交通大臣認定を取得、同構法の環境性能を他の一般的な工法と比較した研究成果を国内の学会や国際会議等で発表するなど、研究・実践の両面で幅広く展開中であります。

【関連ページ】

理工学研究科 鷹野敦准教授 ホームページ <http://eal.aae.kagoshima-u.ac.jp/>



2月8日時点の組み立て様子



イメージ模型

【問い合わせ先】

鹿児島大学大学院理工学研究科・准教授
鷹野 敦（タカノ アツシ）

TEL：099-285-8313 E-mail：takano@aae.kagoshima-u.ac.jp

※取材をされる際は、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底していただきますようお願いいたします。